


それ、本当に燃やすごみ？ 容器包装プラスチックをキチンと分別して資源にしよう

容器包装プラスチックとは？
プラスチックでできた容器や包装のことです。

 ← このマークが目印です。
※マークが無いものもあります。

ペットボトルは「ペットボトル回収ボックス」へ
いつでも出せます



※回収ボックス以外にも、店舗回収されているスーパーやドラッグストアなどもあります。

容器包装プラスチック

お菓子(ポテトチップスなど)の袋 ※水洗いはせず、はたかなどで中身を空にすれば出せます。	液体洗剤などの容器	果物のネット
ペットボトルのキャップ・ラベル	カップ麺の容器 ※紙製のものもあります。	食品トレイや卵パック など

容器包装プラスチックに間違えられやすいもの

硬質プラスチック プラスチック製のコップ	文房具 歯ブラシ など
金属との複合品 おもちゃ ハンガー ビデオテープ など	

「埋立ごみ」に出しましょう

interview



彦根市でごみの分別に熱心に取り組み、彦根市廃棄物減量等推進審議会の委員もされている加屋さんにお話を聞きました。

子どもたちの未来を、守っていききたい

「学生のころから環境問題には関心があったのですが、きっかけかというと、子どもが生まれたことかな。」と語る加屋さん。それまでは自分自身の生活や未来のことは考えていたが、出産したことで、子どもの未来の環境についても意識するようになったと言います。「子どもたちが大人になったときに、良い未来であってほしいと思ったんです。」

だから、分別を続ける

「このような環境にしているのは、私たち大人たちなんですよね。」と続けます。「昨年、市内小学校で運動会中に複数の児童が熱中症で病院へ搬送されましたよね。このことを受け、子どもたちが外で楽しく運動できるように私たちがしていけないと、と改めて思いました。子どもの野球の試合の応援に行っても、夏は暑さとの戦いになっていて辛そうです。だからこそ、私たちにできること、分別を続けることで、子どもたちが夏でも外で運動できる、そんな環境を守りたいんです。」と話していました。

未来のために、できることから少しずつ

最後に、市民の皆さんへ伝えたいことを聞きました。「分別も大切ですが、包装材も意識してみてもはどうでしょうか？プラスチックを使用していない商品を選ぶことも一つの手段だと思っています。未来の環境は、買い物などの日常の行動で変わるかもしれません。他人事として考えず、未来を担う子や孫世代のためにも、楽しく続けるのがコツです！」

こんなものも容器包装プラスチック

おにぎりの包装プラスチック
※シールが貼られたままでも出せます。

発泡スチロール



容器包装プラスチックの出し方3STEP

- ① 正しく分別し中身を空にする！
- ② 汚れのあるものは、水で軽くすすぎ、水切りをする！
- ③ 容器包装プラスチック指定専用袋に入れて出す！

例：カップ焼きそばのごみ



※2・3回すすぐだけでこんなにきれいになります！

▲動画で分別方法が見られます(出典：日本容器包装リサイクル協会)。

容器包装プラスチックの行方 ～家庭から出た容器包装プラスチックはどうなるの？～

容器包装プラスチックは、清掃センターにある「容器包装プラスチック資源化施設」に集められます。ここでは、さまざまな原料にリサイクルする前段階の工程として、容器包装プラスチックの中の不適物を除去し、圧縮梱包しています。

作業の流れ

- ①破袋機
ごみ袋を機械で破きます。
- ②手選別
一つひとつ手作業で選別し、資源化できないものを取り除きます。
- ③圧縮梱包、出荷
再生製品に生まれ変わらせるため、圧縮梱包し、リサイクル事業者へ出荷します。
- ④リサイクル事業者
リサイクル事業者で製品に加工されます。彦根市で排出された容器包装プラスチックは、パレットに生まれ変わっています(約20,000枚/年)。

エコパレット
※工場などで荷物を運ぶときに使うものです。



選別作業をする職員からのお願い

袋を三重にするのはやめましょう！

二重袋は機械で破ききれません。また、中に入っているものが確認しづらいため、作業員のけがにつながる危険性もあります。

正しい分別をお願いします！

火災やけがの原因となるライターや刃物などの危険物は、容器包装プラスチックではありません。詳しい分別については彦根市ホームページ(QRコード)から調べることができます。

▲実際に混入していた危険物(一例)

▲ライター	▲乾電池	▲刃物(カッター・はさみ・カミソリ)
-------	------	--------------------